

第4章 酒々井健康プランの中間評価

1 中間評価の方法

計画策定時を基準値として、目標値、現状値を用いて、達成率を算出し、下記の判定区分に基づいた評価を行いました。

指標の判定区分と判定基準

A	目標に達した	達成率 100以上
B	目標値に達していないが改善傾向にある	達成率 5～99
C	変わらない	達成率 ±5未満
D	悪化している	達成率 -5以下

$$\text{達成率} = \frac{\text{基準値の数値} - \text{現状値}}{\text{基準値の数値} - \text{目標値}} \times 100$$

2 健康増進計画の中間評価

(1) 個人の生活習慣の改善と健康を支える環境の整備

主な取組

- ◇健康維持・増進を目的として、ノルディックウォーキング教室やピラティス教室などを開催しました。
- ◇定期の健康相談の件数が減少しているため、令和5年度より随時の健康相談としました。電話による相談は増加しています。また、健診時に健康相談を実施しています。
- ◇生活習慣病予防のため、健康や栄養について学ぶヘルスアップセミナーの開催、保健師、歯科衛生士による講義や、しすいハート体操、調理実習を行いました。
- ◇しすいハート体操サポーター養成講座や出前健康講座でしすいハート体操の普及啓発を図るとともに、令和5年度から、介護予防事業の参加者に対し、教室前にしすいハート体操を実施しました。
- ◇健康推進員と一緒に町内の名所を歩くヘルシーウォーキングを月に1回開催しました。塩分測定も行い、減塩についての意識の向上を図りました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成 29 年度)	目標値	現状値 (令和 5 年度)	評価
運動習慣者（1回30分以上、週2回以上実施）の割合	男性	41.0%	51.0%	43.0%	B
	女性	43.7%	54.0%	41.3%	D
しすいハート体操を行ったことがある人の割合		7.9%	30.0%	7.8%	C
眠れている人の割合	男性	25.0%	45.0%	18.4%	D
	女性	24.5%	45.0%	30.1%	B
喫煙している人の割合	男性	24.0%	15.0%	17.8%	B
	女性	7.0%	5.0%	5.1%	B
COPD※の認知度の割合		34.4%	70.0%	52.3%	B

○運動習慣者（1回30分以上、週2回以上実施）の割合は、男性は2.0ポイント増加していますが、女性は2.4ポイント減少しています。

○しすいハート体操を行ったことがある人の割合はほぼ現状維持となっています。

○眠れている人の割合は、女性は5.6ポイント増加していますが、男性は6.6ポイント減少しています。

○喫煙している人の割合は、男性は6.2ポイント、女性は1.9ポイントといずれも減少し、改善傾向にあります。また、COPD の認知度の割合についても17.9ポイント増加し、改善傾向にあります。

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）：咳や痰、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気を「慢性閉塞性肺疾患」といいます。

(2) 社会生活を営むために必要な心身機能の維持向上

次世代の健康づくり

主な取組

- ◇妊娠届出時に保健師が面接し、親子すこやかプランを作成しました。また、妊娠中には地区担当保健師による、切れ目のない支援を実施しました。
- ◇4か月と10か月の乳児を対象に計測と保健・栄養・歯科相談、ブックスタートを行いました。
- ◇幼児健康診査として内科・歯科健康診査、保健・栄養相談、ブラッシング指導を行いました。
- ◇遊びの教室「どんぐり」で、子どもの発達や育児等について心配がある親子を対象に遊びの指導と相談、助言を行いました。
- ◇あいあい子育て支援講話では保健師、栄養士、歯科衛生士による子育て講話等の中で、保健相談、栄養相談、歯科講話を開催しました。
- ◇小学5年生を対象にして、子どもの時からの生活習慣病予防の啓発を行う「いきいきしすいっこ教室」を開催しました。
- ◇毎年小学6年生と中学1年生を対象に薬物乱用防止教室を開催し、薬の正しい使用方法や乱用防止について講義を行いました。
- ◇毎年小学6年生と中学3年生を対象に、助産師を講師に招き、いのちの教育を実施しました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成 29 年度)	目標値	現状値 (令和 5 年度)	評価
睡眠時間が8時間以上の割合	小学 4 年生	49.7%	60.0%	44.8%	D
	中学 1 年生	19.7%	30.0%	20.9%	B
子どもの運動習慣の割合 (学校以外で週3回以上)	小学 4 年生	48.5%	60.0%	49.6%	B
	中学 1 年生	58.4%	70.0%	46.5%	D
低出生体重児の割合		8.4% (平成 28 年)	減少へ	6.5% (令和 5 年)	A

- 睡眠時間が8時間以上の割合は、中学1年生は1.2ポイント増加していますが、小学4年生は4.9ポイント減少しています。
- 子どもの運動習慣の割合（学校以外で週3回以上）は、小学4年生は0.7ポイント増加していますが、中学1年生は11.9ポイント減少しています。
- 低出生体重児の割合は1.9ポイント減少しています。

高齢者の健康づくり

主な取組

- ◇71歳以上の女性を対象に骨粗しょう症やロコモティブシンドロームについての講話や骨密度の計測を行う「骨粗しょう症予防セミナー」を実施しました。また、子育て期の方が関心を持ち予防に取り組めるよう、母親を対象に骨密度測定を実施しました。
- ◇高齢者の引きこもり防止や介護予防を目的に健康体操、ウォーキング、ゲーム、創作活動等を行う生きがいデイサービス事業を行いました。
- ◇高齢者が集まってお互いの理解を深め孤独感をなくす集まり「水仙クラブ連合会」は、現在、町内に18のクラブで活動しています。
- ◇65歳以上の方を対象に介護予防のための運動などの講座を行いました。また、各種教室の開催を通して介護予防を図りました。
- ◇交流拠点施設げんき館では、高齢者と多世代の町民との交流を促進するため、体操、交流会等を開催し、いつまでも元気な暮らしを楽しむことができるよう支援しました。

指標の達成状況

指標	計画策定時 (平成 29 年度)	目標値	現状値 (令和 5 年度)	評価
近所の方とつきあいがいない人の割合	6.7%	減少へ	6.7%	C
ボランティアしている（よくしている、たまにしている）人の割合	33.9%	40.0%	33.5%	D

- 近所の方とつきあいがいない人の割合は変わりませんが、ボランティアしている人の割合は0.4ポイント減少しています。

(3) 生活習慣病の発病予防と重症化予防

主な取組

- ◇胃がん、結核・肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診を集団検診にて実施しました。乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診については、個別検診も実施しています。また、特定の年齢の方には無料クーポン券を送付しました。
- ◇特定健康診査は、令和4年度からは個別健診と集団健診から選択して受診できるようになりました。令和3年度からA Iを活用した受診勧奨を実施しています。
- ◇特定健康診査での血圧、尿検査、BMIにおいて、基準値以上の該当者に対して個別で健康相談を行いました。また、必要な方には訪問指導を実施しました。
- ◇住民を対象に、専門看護師や栄養士などの専門職による糖尿病に関する講義を行いました。
- ◇生活習慣病予防のため、健康や栄養について学ぶヘルスアップセミナーを開催しました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成29年度)	目標値	現状値 (令和5年度)	評価
各種がん検診の受診率の向上	胃がん	8.5%	18.5%	5.5%	D
	結核・肺がん	13.4%	14.5%	10.2%	D
	大腸がん	16.9%	27.0%	13.6%	D
	子宮頸がん	8.1%	18.0%	5.9%	D
	乳がん	19.7%	30.0%	15.6%	D
特定健診受診率の向上（国保被保険者）		36.6%	41.6%	40.5%	B
特定保健指導実施率（国保被保険者）		24.0%	50.0%	33.9%	B
メタボリックシンドローム (国保被保険者)	該当者割合	14.0%	10.0%	18.1%	D
	予備群割合	11.4%	8.0%	10.7%	B

- 各種がん検診の受診率は、5大がん検診で2.2ポイント～4.1ポイントといずれも低下しています。
- 特定健診受診率は3.9ポイント、特定保健指導実施率は9.9ポイントといずれも増加し、改善傾向にあります。
- メタボリックシンドロームは、該当者割合は4.1ポイント増加しており、予備群割合は0.7ポイント減少しています。

3 食育推進計画の中間評価

(1) 健康な心身を育む食育の推進

主な取組

- ◇各保育園で、5歳児を中心に、食に対しての興味・関心が培われるように季節に応じ簡単なクッキング体験、子どもたちが読めるひらがな献立や簡単な食事のマナー等を掲示しました。
- ◇酒々井小学校全学年と大室台小学校6年生を対象に栄養教諭が各学級で授業を行いました。中学校では給食時間に栄養士の放送による食育指導を行いました。
- ◇食生活に対する正しい知識の普及を図るため、毎月予定献立表の裏面に「給食だより」を掲載し、また、就学期から生活習慣病予防など生涯にわたる健康づくりについて理解を深めるため「給食センターからこんにちは」を年3回広報に掲載しました。
- ◇乳児相談、幼児健康診査で、成長段階に合わせた資料を使用し、離乳食、幼児食についての個別相談を実施しました。
- ◇妊娠中及び授乳中の食生活について学ぶため、マタニティ・ママパパクラスで妊娠中の食事についての講義、調乳実習を行いました。
- ◇未就学児の保護者を対象とした、家庭教育学級ローズマリー教室の所属者を対象に、調理実習を行いました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成 29 年度)	目標値	現状値 (令和 5 年度)	評価
朝食を全くとっていない割合	小学 4 年生	1.2%	0%を目指す	3.2%	D
	中学 1 年生	1.1%	0%を目指す	3.9%	D
バランスのとれた食事を1日2回以上、週に6～7日とっている割合		43.9%	70.0%	44.7%	C
うす味（減塩）を心がけている割合		39.0%	70.0%	34.6%	D
食育の内容を知っている割合		39.7%	70.0%	50.0%	B

- 朝食を全くとっていない割合は、小学 4 年生は2.0ポイント、中学 1 年生は2.8ポイントといずれも増加しています。
- バランスのとれた食事を1日2回以上、週に6～7日とっている割合は、0.8ポイント増加と大きな変化はありません。
- うす味（減塩）を心がけている割合は、4.4ポイント減少しています。
- 食育の内容を知っている割合は、約 10 ポイント増加しています。

(2) 地域・関係団体等における食育推進活動の実践

主な取組

- ◇学校給食で米は酒々井産を使用しています。また、月に2回酒々井味噌を使用した汁物を提供しています。予定献立表に「今月の酒々井産」として地元産農産物や加工品を周知する欄を設けています。
- ◇地域団体と協力し、小学校で田植え体験・稲刈り体験を実施しました。
- ◇令和元年度頃までは町内で貸農園の取組みを行っていました。令和2年度以降については町内における貸農園がない状況であり、近隣市町の市民農園への案内を行いました。
- ◇町の生産者と住民との触れ合いの場を通し地産地消を推進するふるさとまつり等イベントを実施しました。
- ◇大人の食育教室として、千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司を作り、食育についての講話を行いました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成29年度)	目標値	現状値 (令和5年度)	評価
ひとりで食事（夕食）をとる子どもの割合	小学4年生	1.2%	0%を目指す	5.6%	D
	中学1年生	6.2%	0%を目指す	6.2%	C
地産地消を心がける割合		23.7%	50.0%	20.1%	D

- ひとりで食事（夕食）をとる子どもの割合は、中学1年生は変わりませんが、小学4年生は4.4ポイント増加しています。
- 地産地消を心がける割合は、3.6ポイント減少しています。

4 歯科口腔保健計画の中間評価

主な取組

- ◇保健センターで、対面及び電話での歯科健康相談を実施しました。
- ◇10か月児に、歯科衛生士によるブラッシング指導と歯ブラシの配布を行いました。
- ◇1歳6か月、2歳児、3歳児健康診査で歯科健診、ブラッシング指導、フッ化物歯面塗布などを行いました。
- ◇3歳児健康診査を受診したむし歯のない親と子に対して、親と子のよい歯のコンクールを実施しました。
- ◇保育園、幼稚園、こども園の年長児を対象に、むし歯についての話とブラッシング指導を行いました。
- ◇年に1回、保育園児歯科健康診査を行いました。
- ◇学校歯科医の協力を得て、全学年の歯科検診を実施し、検診後の歯科治療を要する児童生徒への正しい知識の普及や、早期発見・早期治療につなげました。
- ◇春の歯科検診でC O， G O， G の児童に対し歯科検診を行いました。検診後改善が認められない児童に対し、小集団でブラッシング指導を実施しました。
- ◇小学校では歯科衛生士による講話、染め出し、ブラッシング指導を実施しました。
- ◇妊娠中からの口腔ケアの大切さや生まれてくる赤ちゃんの口の健康づくりのため、妊婦とその配偶者にむし歯・歯周病検診を一人一回無料で行いました。
- ◇40歳以上の方を対象に、町内の契約歯科医療機関で歯科検診を行いました。
- ◇ヘルスアップセミナー、あなたの元気応援団、糖尿病予防教室、生きがいデイサービスなどで歯と口腔の健康づくりの重要性について講義と実習を行いました。
- ◇特定健診の口腔に関する質問項目で問題のあった方に対し、令和4年度から「お口の健康検査」を町内歯科医療機関に委託し実施しました。
- ◇通いの場やフレイル予防教室等で、歯と口の健康づくりの講話や口腔体操を実施しました。
- ◇6月のむし歯予防月間、11月のいい歯の週間では広報に記事を掲載し、町民に歯と口腔の健康づくりについて周知しました。また、8020運動を町民に周知しました。

指標の達成状況

指標			計画策定時 (平成29年度)	目標値	現状値 (令和5年度)	評価
乳幼児期	3歳児におけるむし歯のない児の割合		86.1%	90%以上	89.4%	B
	1歳6か月児で間食（おやつ）を1日3回以上飲食する習慣を持つ児の割合		7.2%	5%以下	9.0%	D
	毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある児の割合	1歳6か月児	91.2%	100%	88.8%	D
		3歳児	94.1%	100%	98.8%	B
学童・思春期	12歳児における1人平均むし歯数		0.54本	0.5本以下	0.53本	B
	歯肉の炎症所見を有する（G）生徒の割合	中学生	24.1%	15%以下	12.4%	A
	よく噛んで食べることを意識している児童・生徒の割合	小学4年生	84.8%	90%以上	84.8%	C
		中学1年生	72.5%	90%以上	79.1%	B
	週1回以上自分の歯や歯肉の状態を観察する習慣のある児童・生徒の割合	小学4年生	61.8%	70%以上	55.2%	D
		中学1年生	61.2%	70%以上	62.1%	B
成人・高齢期	80～84歳で自分の歯を20本以上有する人の割合※		30.7% (H28)	50%以上	41.9%	B
	定期的に歯科検診を受けている人の割合		46.2%	60%以上	50.8%	B
	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合		49.2%	60%以上	53.4%	B
	成人歯科検診受診率		0.6%	増加へ	0.8%	B
	成人歯科検診において進行した歯周病を有する人の割合	40歳代	34.5%	20%以下	45.8%	D
		50歳代	42.9%	30%以下	37.5%	B
		60歳代	84.2%	60%以下	40.0%	A
	歯間部清掃器具を使用している人の割合		46.6%	60%以上	57.0%	B
	よく噛んで食べることを意識している人の割合		56.8%	65%以上	67.0%	A
	8020運動を知っている人の割合		46.4%	60%以上	51.4%	B
	口腔と全身との関わりについて知っている人の割合		79.8%	85%以上	80.7%	B
障害等	定期的に歯科健康診査を受けている人の割合		47.6%	60%以上		

※令和4年度酒々井町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施報告書

〈乳幼児期〉

- 令和5年度3歳児におけるむし歯のない児の割合89.4%でしたが、令和元年度から5年度までの値を比較すると85～89%を推移しています。
- 1歳6か月児で間食（おやつ）を1日3回以上飲食する習慣を持つ児の割合は平成29年度と比較すると1.8ポイント増加してしまっていますが、令和元年度から5年度までの値を比較すると横ばいです。
- 毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある児の割合で3歳児は令和元年度から5年度の値を比較すると改善傾向にありますが、1歳6か月児は2.4ポイント減少しています。

〈学童・思春期〉

- 歯肉の炎症所見を有する(G)生徒の割合は、令和5年度は12.4%と目標値を達成していますが、令和元年度から4年度までの値を比較すると20%前後で推移しています。
- よく噛んで食べることを意識している児童・生徒の割合は、平成29年度から令和5年度にかけて中学1年生は6.6ポイント増加しましたが、小学4年生は変化は認められませんでした。
- 週1回以上自分の歯や歯肉の状態を観察する習慣のある児童・生徒の割合は、平成29年度から令和5年度にかけて中学1年生は0.9ポイント増加し、小学4年生は6.6ポイント減少しています。

〈成人・高齢期〉

- 80～84歳で自分の歯を20本以上有する人の割合、定期的に歯科検診を受けている人の割合、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合、成人歯科検診受診率、歯間部清掃器具を使用している人の割合、8020運動を知っている人の割合、口腔と全身との関わりについて知っている人の割合は、改善傾向にあります。
- 成人歯科検診において進行した歯周病を有する人の割合は、平成29年度から令和5年にかけて40，50，60歳代ともに年により値が大幅に異なります。そのため、一定の傾向を評価ができない状況です。
- よく噛んで食べることを意識している人の割合は、令和5年度67.0%で目標値を達成しています。

5 自殺対策計画の中間評価

主な取組

- ◇職員と町民を対象にゲートキーパー養成講座を開催しました。
- ◇令和元年度に健康ふくしフェスティバルにおいて、ゲートキーパー養成講座講演会を実施しました。
- ◇職員健診及びストレスチェック、健康相談を実施しました。
- ◇広報等により自殺予防週間、自殺対策強化月間の周知を実施しました。また、SNSにより自殺対策の周知を実施しました。
- ◇3月の自殺対策強化月間に合わせ、メンタルヘルスに関する図書の展示や、関連する情報の提供を行いました。
- ◇児童生徒向け SOS の出し方に係る教職員の研修や児童生徒に対する指導、教育相談や情報交換会を実施しました。教職員が、問題のある児童生徒に対し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携するなど、組織的に対応する体制づくりを強化しました。
- ◇生活保護制度については、実施機関である印旛健康福祉センターと連携し支援にあたりました。生活困窮者自立支援制度については、町社会福祉協議会や千葉県的生活困窮者自治支援事業の委託を受けている、「さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンター」と連携し、支援にあたりました。
- ◇高齢者や介護に対する相談を行い、令和5年度は介護保険に関すること、日常生活のこと、認知症に関することが相談内容として多くありました。

指標の達成状況

指標		計画策定時 (平成29年度)	目標値	現状値 (令和5年度)	評価
自殺者数※（平成25～29年の5年間平均）		2.2人	2人以下	3.4人	D
自殺率※（平成25～29年の5年間平均）		10.3	5以下	16.5	D
不安や悩み等、話を聞いてくれる人がいない人の割合	男性	13.0%	減少へ	12.0%	A
	女性	4.8%	減少へ	5.1%	D

※計画策定時の基準値は平成25～29年の5年間平均、現状値は令和元年～5年の5年間平均

- 自殺者数は1.2ポイント、自殺率は6.2ポイントといずれも増加していますが、自殺率は国と同等となっています。
- 不安や悩み等、話を聞いてくれる人がいない人の割合は、男性は1.0ポイント減少していますが、女性は0.3ポイント増加しています。